

★ 整備メニュー・内容 ★

- 基幹事業：計画の目標を実現するための主たる事業（道路本体に関わる事業）・・・道路改良事業，交通安全事業，防災事業，補修事業等
- 関連社会資本整備事業：基幹事業と一体的に行うことが必要な事業・・・河川事業，海岸事業，港湾空港事業，砂防事業等
- 効果促進事業：基幹事業と一体となって効果を一層高める事業・・・長寿命化等計画策定，景観整備，交通安全施設整備等

【成果目標①】

「安心とゆとりの創出時間」とは・・・

未改良の道路は，幅員狭小，線形不良等により十分な視距が確保できず，また，危険な法面等が存在し事故や災害が懸念され，歩行者や自転車等に注意しながら不安な運転を余儀なくされ，走行速度の低下を招いていました。

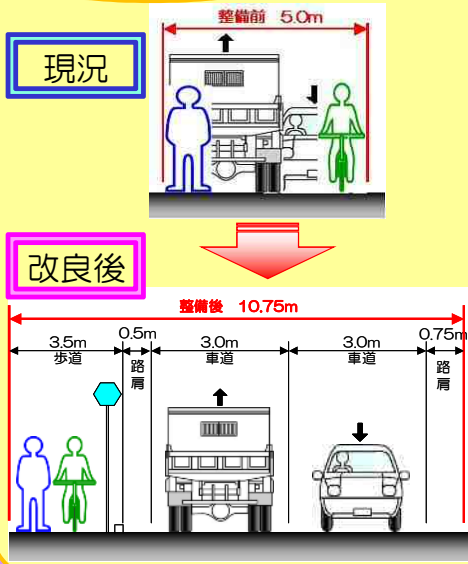
そこで，道路の利用者に

- ・ 「安心走行時間」：道路が改良されることにより，事故や災害等の不安や走行性の悪さに伴うストレスが解消され，安心して快適な走行が出来る時間
- ・ 「ゆとりの時間」：目的地までに要する時間が短縮されることにより得られる時間

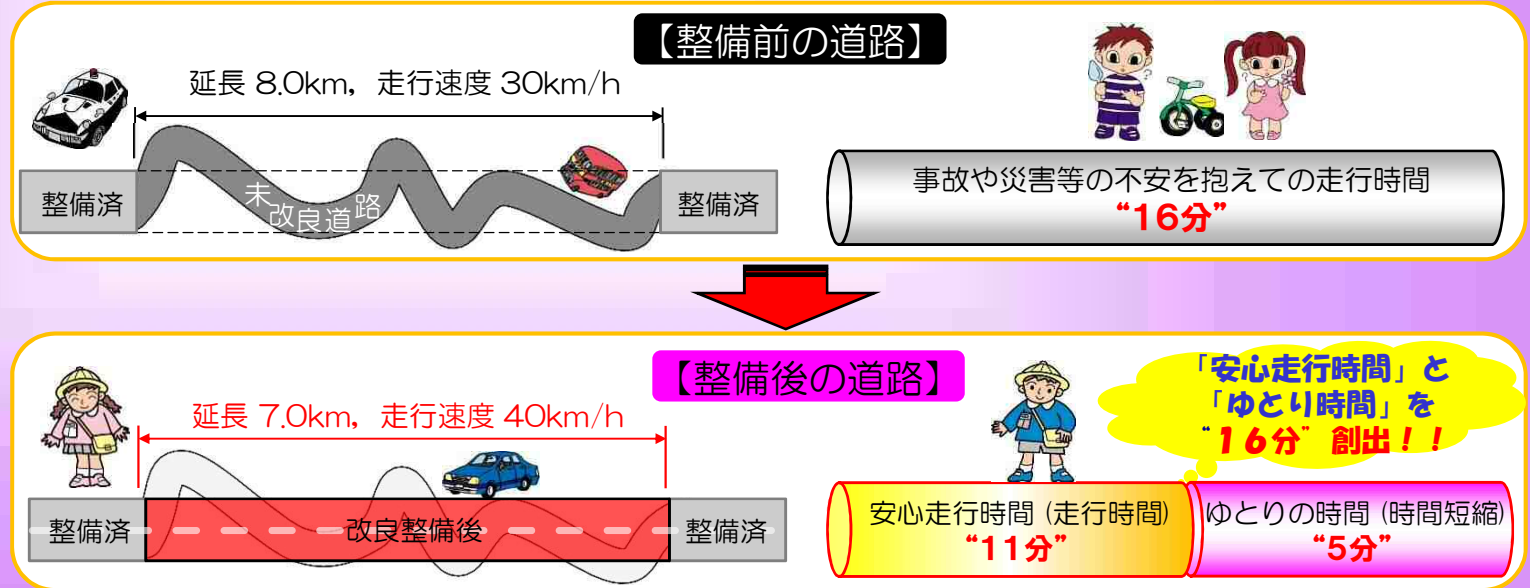
の余裕を提供するため，「安心とゆとりの創出時間」について目標を設定して整備を行いました。

このほか「防災対策必要箇所解消等による災害時等の緊急輸送活動の支援」，「舗装補修等により走行の安全性，快適性の向上」，「歩道設置に伴う自転車や歩行者の安全確保」の事業を推進しました。

整備イメージ



指標イメージ



【整備前の道路】

延長 8.0km，走行速度 30km/h

事故や災害等の不安を抱えての走行時間

“16分”

【整備後の道路】

延長 7.0km，走行速度 40km/h

安心走行時間（走行時間）

“11分”

「安心走行時間」と「ゆとり時間」を
“16分” 創出！！

ゆとりの時間（時間短縮）

“5分”

【成果目標②】

「都市内道路の整備区間における走行時間損失の削減」とは・・・

都市内道路（都市計画道路）とは、都市交通施設としての機能のほか、次のような機能を持っています。

- ◎ 通風や採光、オープンスペースといった居住環境を維持するための機能
- ◎ 避難路や救援路などの都市防災施設としての機能
- ◎ 電気・ガス・上下水道・電話等の都市施設のための空間としての機能
- ◎ 市街化を誘導する機能

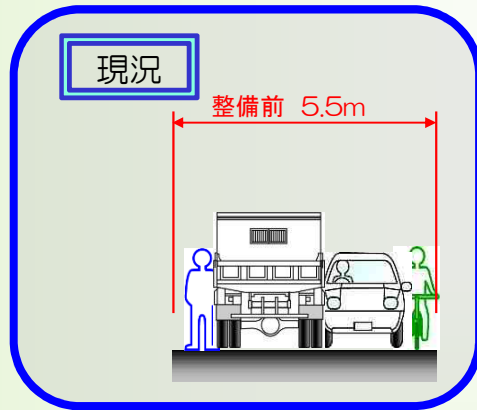
整備前の道路では、線形不良や、幅員の狭小、歩道未整備による歩行者や自転車等への配慮により、不安な運転を余儀なくされ、道路を通過するにあたり、相当な時間等を要しているところです。

今回、社会資本整備総合整備計画を策定し成果目標を設定するうえで達成度を目に見えるかたちにするために、道路を利用されている方々が改良前に通行した際にかかった時間と、道路が改良されることにより、安全・安心に通過することができる時間を算出し比較することとしました。

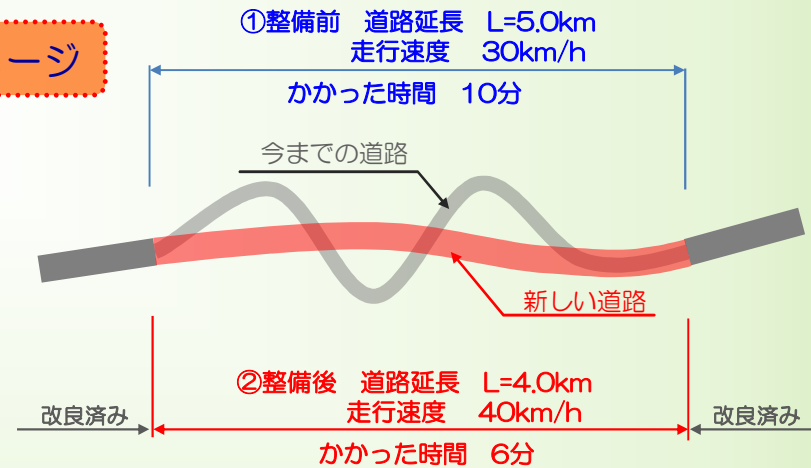
また、成果目標のほかに、都市計画道路を整備することにより、歩道整備による歩行者等の安全確保や都市空間の確保など、様々な役割を果たすことができます。

改良のイメージ

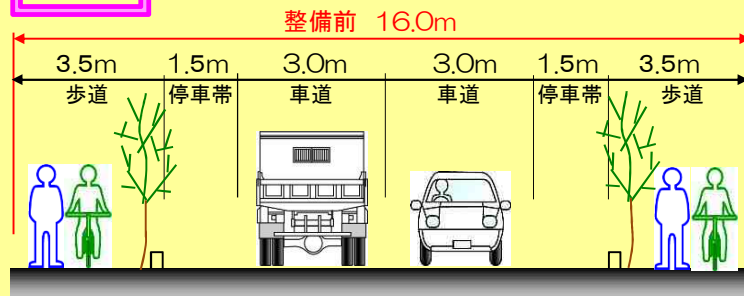
- 車と歩行者の分離による安心・安全な道づくり
- ゆとりある都市空間整備
- 植樹帯の設置による良好な生活環境の確保
- 停車帯整備による円滑な通行の確保
など



指標のイメージ



改良後



$$\text{削減割合} = \left[\frac{6\text{分 (整備後の走行時間)}}{10\text{分 (いままでの走行時間)}} - 1 \right] \times 100 = \underline{\underline{-40\%}} \text{ (％)}$$

いままでも道路を通行するのに余分にかかっていた時間を走行時間損失としています。

今回の例では、道路改良を行うことにより、走行時間を**40%削減**（4分短縮）することができました。

計画名称

県央部における交通連携の充実強化と産業と観光の調和による活力ある地域づくり

【事業主体】鹿児島県、霧島市、伊佐市、始良市、湧水町



計画の目標・計画期間

九州縦貫自動車道、東九州自動車道及び鹿児島空港へのアクセス強化、熊本及び宮崎両県との連携強化を図り、本地域に集積した産業資源を活用した新たな事業の創出と、霧島・奥薩摩等の観光拠点を活用した地域振興を支援するとともに、都市内の円滑な交通を確保し、産業と観光が調和した活力ある地域・経済社会を形成する。〔平成21年度～平成25年度（5箇年）〕

道路利用者

車道が“約13km”改善され“約4分”走行時間が短縮

歩道が“約8km”整備され歩行者等の安全性が向上

法面危険箇所“2箇所”，舗装補修“約17km”を修繕

要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考		
				完了	継続			
A：基幹事業	県	道路改良(指標①)	●	19	17	6	11	バイパス、現道拡幅
		修繕	▲	11	11	11	0	舗装補修等
		交通安全	■	5	5	5	0	歩道設置、交差点改良等
		街路整備(指標②)	◆	3	3	2	1	現道拡幅
		その他	—	0	0	0	0	
	市町村	道路改良(指標①)	●	15	15	5	10	現道拡幅
		修繕	▲	2	2	2	0	舗装補修、災害防除等
		交通安全	■	0	0	0	0	
		街路整備(指標②)	◆	3	2	0	2	現道拡幅
		その他	—	0	0	0	0	
B：関連社会資本事業	—	—	—	—	—	—		
C：効果促進事業	県	植栽、調査等	—	3	3	3	0	橋梁長寿命化計画等
	市町村	植栽、調査等	—	7	7	7	0	橋梁長寿命化計画等

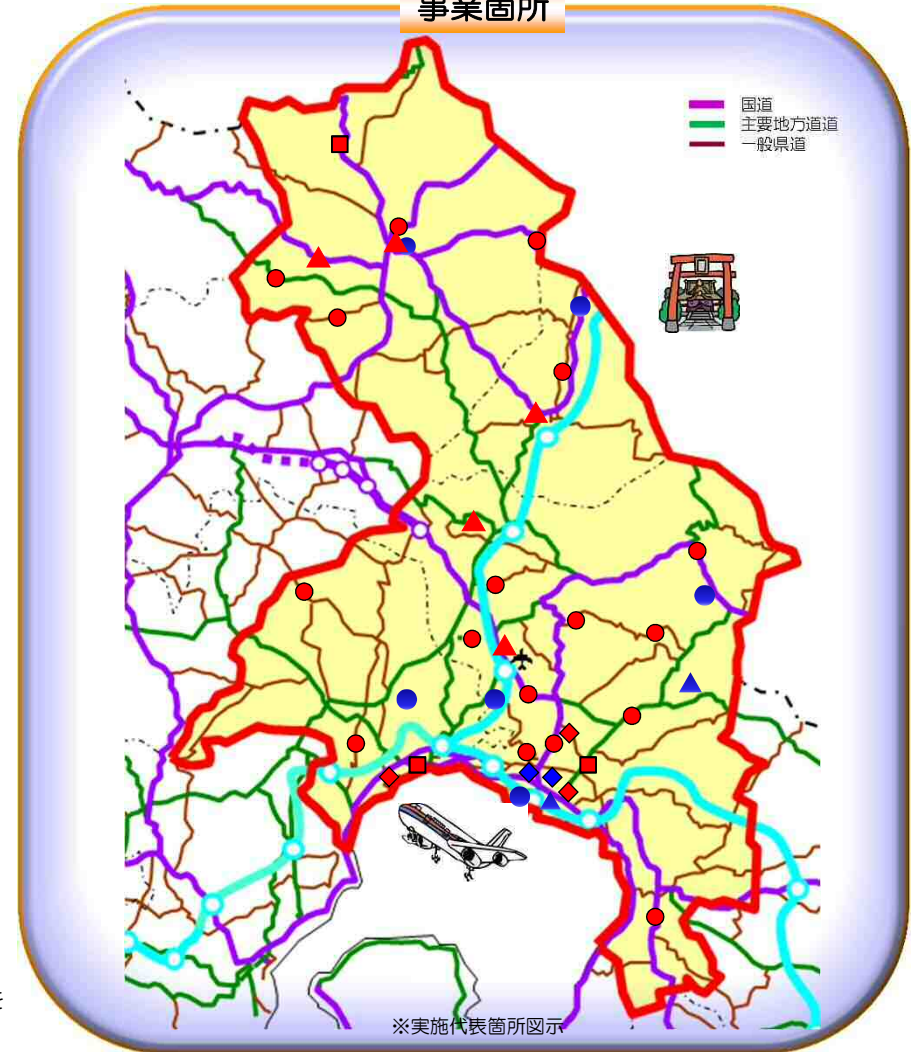
目標達成状況

指標①	計画の成果目標	改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間の創出		
	定義及び算定式	「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度) × 将来交通量 + { (現況延長/現況速度) - (改良後延長/将来速度) } × 将来交通量		
	達成状況	達成度 ⇒ 76%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)
指標②	計画の成果目標	都市内道路の整備計画区間における走行時間損失削減		
	定義及び算定式	「走行時間損失の削減割合」= (評価時における走行時間損失/現況(H21)における走行時間損失-1) × 100 (%)		
	達成状況	達成度 ⇒ 100%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)

今後の方針

県境で隣県との連携を更に強化する国道447号青木バイパスの大規模トンネル、国道223号のバイパス的役割を担う市道住吉東線や都市計画道路の新町線など、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。

事業箇所



※実施代表箇所図示

計画名称 県央部における交通連携の充実強化と産業と観光の調和による活力ある地域づくり

【事業主体】鹿児島県、霧島市、伊佐市、始良市、湧水町

整備効果事例

道路改良

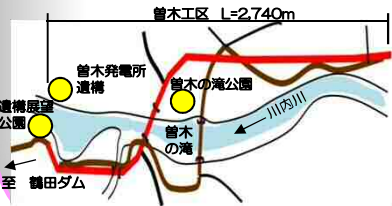
主要地方道

つるだおおくち いさ おおくちそぎ
鶴田大口線(伊佐市大口曾木地区)



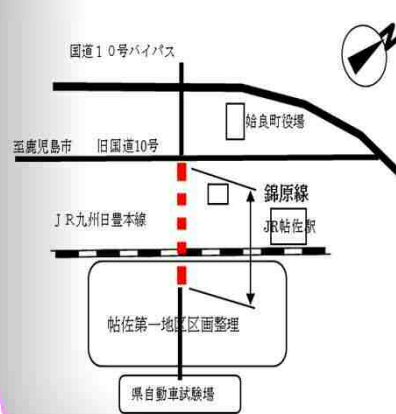
★整備効果★

- 走行時間短縮及び円滑な交通確保により、観光地へのアクセスが向上。歩道の整備を行い、周遊する観光客の安全性向上を図った。
- ◆バイパス整備により0.4km短縮
- ◆曾木の滝や鶴田ダム等の観光地へのアクセス向上
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保



街路整備

にしきばるせん
都市計画道路 3・5・6号 錦原線
まつばらちょうさていしやじょうせん
(一般県道 松原帖佐停車場線)

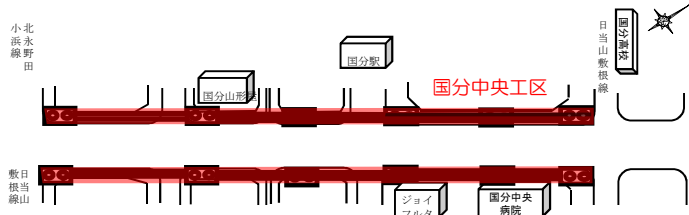


★整備効果★

- JR日豊本線との平面交差を立体交差（跨線橋）とし、渋滞の緩和及び歩行者の安全性確保が図られた。
- ◆立体交差による車両のスムーズな通行確保
- ◆旅行速度が約10km/h向上
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保

交通安全（電線共同溝）

こくぶきりしま きりしま こくぶちゅうおう
主要地方道 国分霧島線(霧島市国分中央地区)



★整備効果★

安全で快適な道路空間の確保、都市景観及び防災機能の向上が図られた。

電柱が多数架空されている

修繕（法面）

みやさこうめのみ きりしま ながみす
1級市道 宮迫梅ノ木線(霧島市永水地区)



★整備効果★

当路線は通学路であり、法面危険箇所の対策を行い、通学児童、通行車両の安全を確保することができた。

- ◆法面保護による防災対策
- ◆道路利用者の安全確保